

桜 島

○火山活動度レベル

期間中の火山活動度レベルは 2（比較的静穏な噴火活動）でした。

概 況

桜島南岳の噴火はなく、火山活動は静穏でした。

噴火活動の状況

桜島南岳の噴火はありませんでした。噴火は 8 月 14 日以降、爆発的噴火は 7 月 2 日以降発生していません。

噴煙活動の状況

噴煙は白色または乳白色・中量で、噴煙高度の最高は 11 日の 800m でした。

地震・微動活動の状況

震動観測点 B 点（南岳火口の北西約 2.3km）での火山性地震の月回数は、174 回（9 月：144 回）でした。このうち B 型地震は 155 回（9 月：131 回）でした（図 1 の ）。震源が求まった A 型地震は 15 回で、南岳火口周辺に分布しました（図 3）。

火山性微動は月末に 2 回発生しました。微動出現時間の月合計は、0.1 時間未満（9 月：0.1 時間）でした（図 1 の ）。

降灰の状況

鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11km）の観測では、9 月に続き降灰はありませんでした（図 2 の ）。

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、黒神 - 野尻と黒神 - 藤野の基線長は、長期的に見るとわずかな伸びの傾向が見られますが、藤野 - 野尻の基線長には変化がありません。これは桜島が 3 年余りの間に東西方向にわずかに膨張していることを示しています（図 4）。

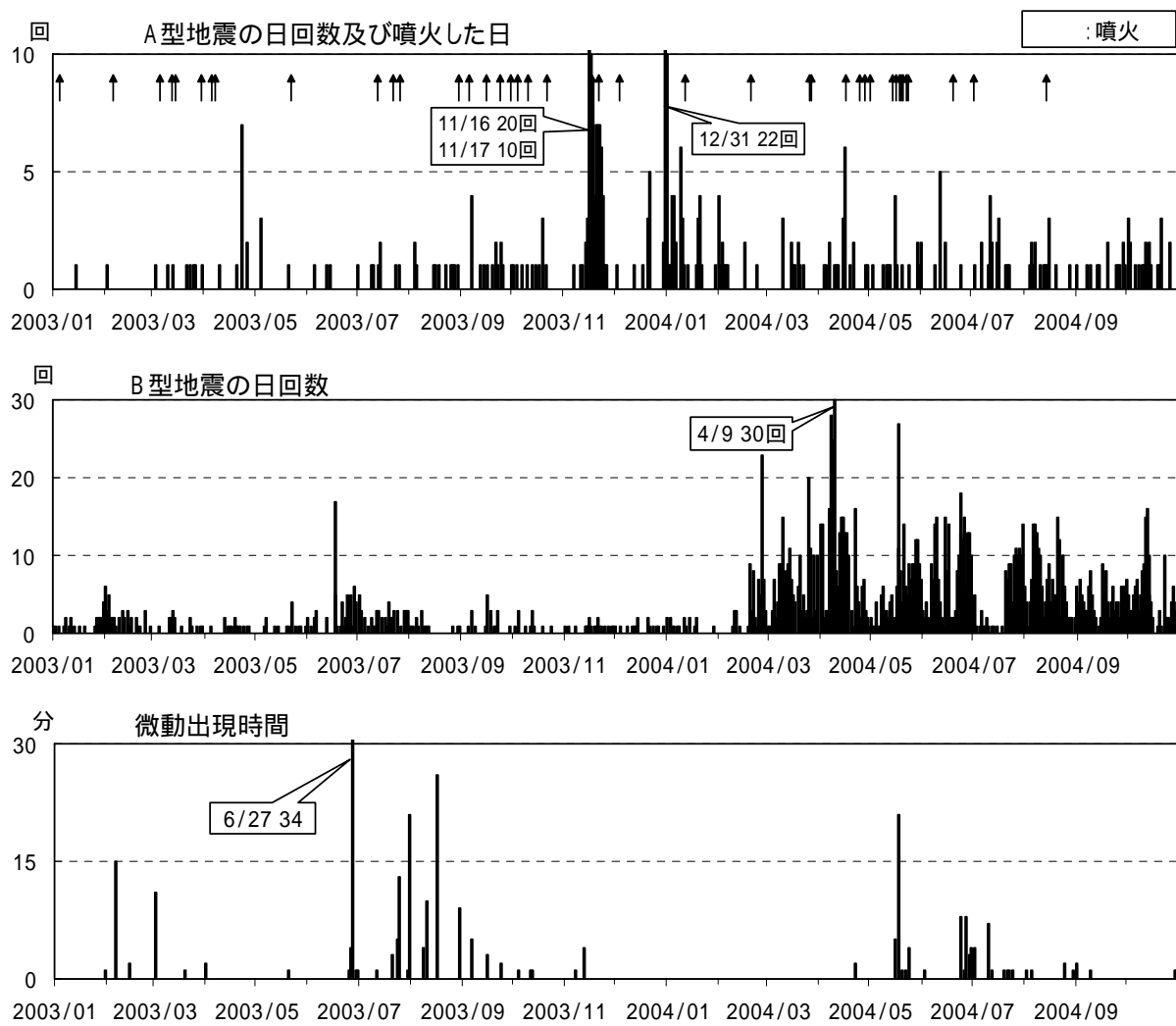


図1 火山活動経過図（2003年1月～2004年10月）

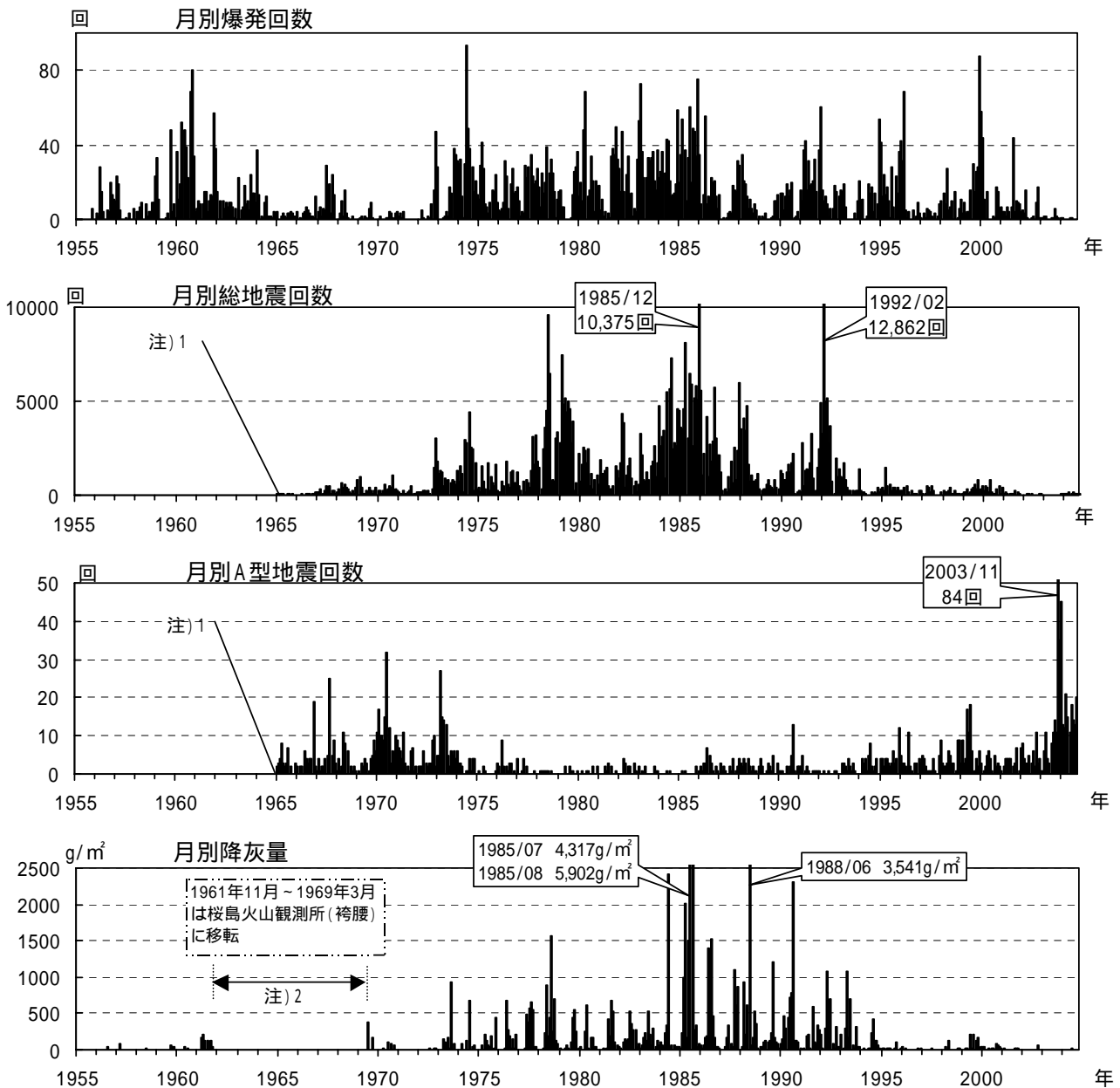


図2 火山活動経過図（1955年1月～2004年10月）

注) 1：震動観測点A点における総地震回数およびA型地震回数は、1965年からのデータをグラフに示した。

注) 2：気象台での降灰量の観測は1994年2月24日までは鹿児島市荒田1丁目、同年2月25日以降は同市東郡元町において行なわれた。なお、1961年11月から1969年3月までは桜島に観測所を移転したため降灰量の統計は中断した。

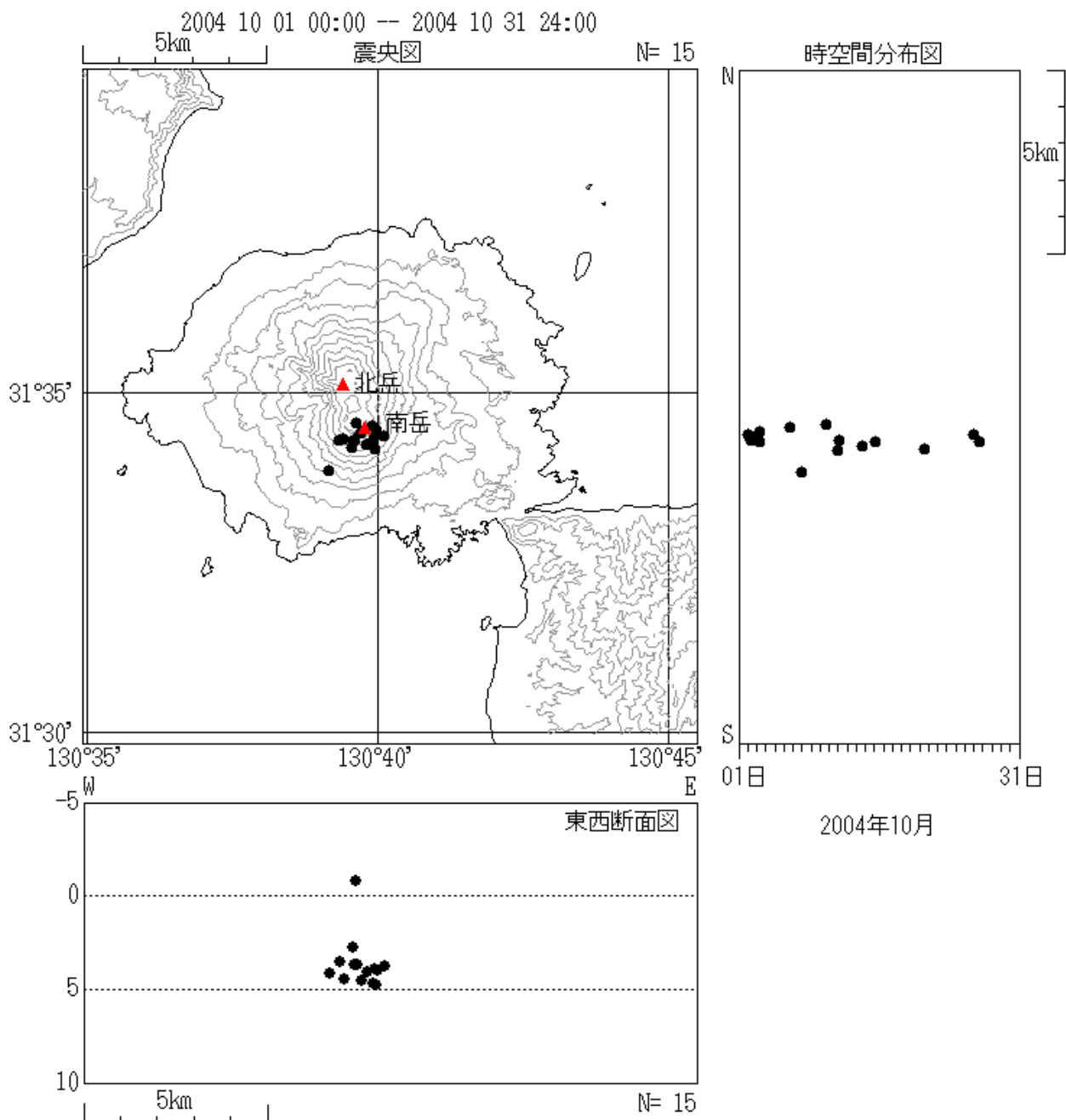


図3 震央分布図（上）と東西断面図（下）、時空間分布図（右）
 （2004年10月1日～10月31日）

本資料は、鹿児島大学、気象庁のデータを用いて作成している。

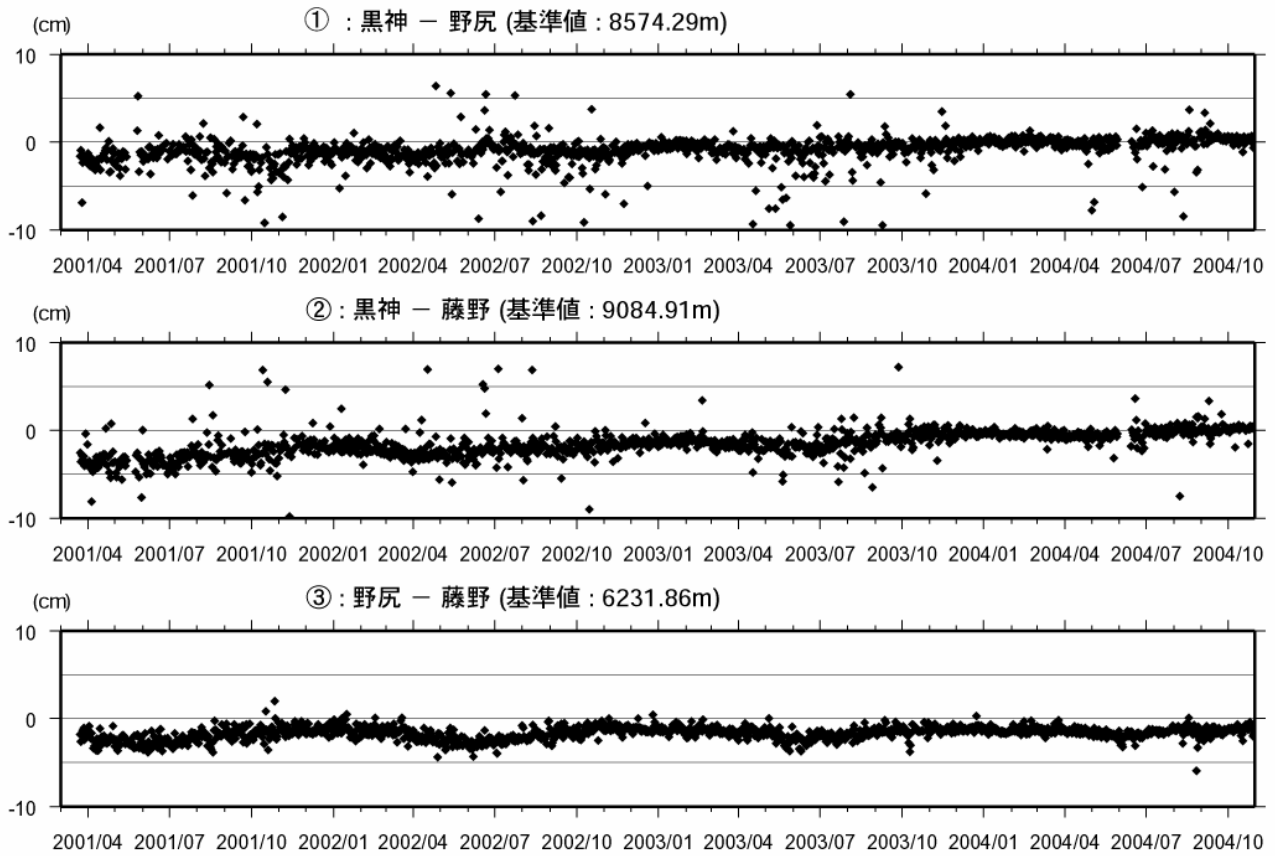


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2004年10月31日)

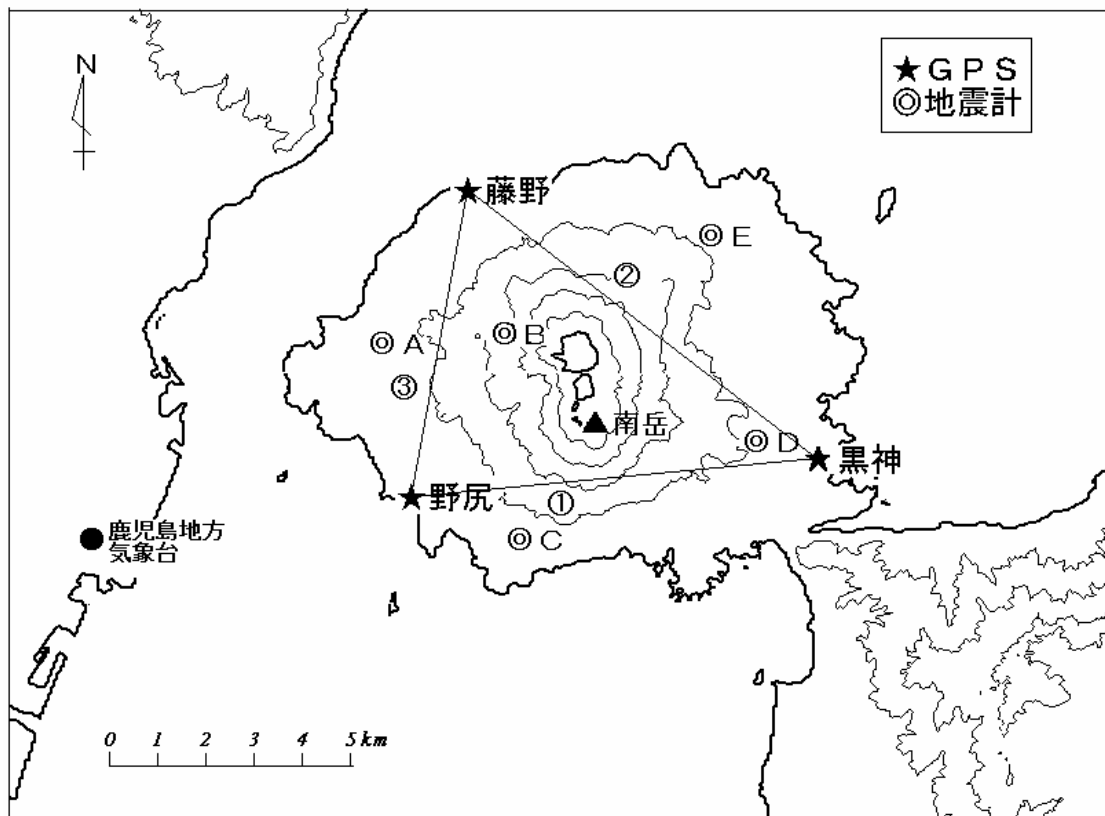


図5 観測点位置図